

## 1 教育目標

### ■ 三和小・中学校一貫教育目標

「高い志をもち 夢と目標の達成に向けて挑戦する三和の子供の育成」

### ■ 三和中学校教育目標

「志高く 未来を拓く」

### ■ めざす生徒像

- 故郷を愛し、主体的に学び、グローバル社会で活躍する生徒
- 心豊かで、礼儀正しい生徒
- 強い意志を持ち、自らを鍛え、挑戦し続ける生徒

## 2 三和小中学校研究主題

児童・生徒主体の授業づくりをめざして

～アクティビティ型授業の設定とファシリテーションを活用した指導方法の工夫を通して～

## 3 三和中学校で身に付けさせたい資質・能力

<p>知識を生かし深める力 【知識及び技能】</p>	<p>①驚きや疑問をもち、既知の知識や情報、技能等を用いて、より深い疑問を持つことができる。(問い)</p> <p>②概念的に形成された知識・技能を生活や学習に活用し、構想を立てて課題解決したり、評価・改善したりすることができる。(活用)</p> <p>③学習と生活とのつながりを意識し、現代社会のどのような場面で活用されているのかを理解し、自らの生活をさらに豊かにする方法について考えることができる。(概念的理解)</p>
<p>共に考え伝え合う力 【思考力、判断力、表現力等】</p>	<p>①物事をとらえる視点を持ち、様々な情報を適切かつ効果的に収集し、比較・分類・分析・解釈したりしながら、根拠をもって多面的・多角的に考察することができる。(思考・判断)</p> <p>②自らの意見を提案しながら他者と協力し、課題解決に向けてよりよく協働活動をすることができる。(協働)</p> <p>③相手や目的に応じて、言葉を適切に使い、自分の解釈を加えて説明・論述したり、妥当性や効果、実現性などを踏まえて議論や意見交換をしたりすることができる。(表現)</p>
<p>自ら関わり学び続ける力 【学びに向かう力、人間性等】</p>	<p>①他者と関わり合う中で、相手や場面を考えて自らの感情や行動をコントロールしながら、互いの関係を深めようとしている。(コミュニケーション)</p> <p>②仮説や見通しをもって学習を構想し、学習内容や思考過程、学習方法などの観点をもって振り返りながら評価・改善したり、新たな問題を見出したりすることができる。(自己調整)</p> <p>③自分の適性について考え、将来の夢や希望、憧れと関連づけ、目標に向けて見通しを持ち、粘り強く継続しようとしている。(自己実現)</p>

研究の視点	概念的理解の深化	アウトプット型の活動	自己調整力の育成
児童の学び	深い学び	対話的な学び	主体的な学び
評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
評価指標	<p>① 学びを深めていると、新たな「なぜだろう？」が生まれ、次の学習活動が楽しみです。(連続思考)</p> <p>② 前に学習したことや、自分の経験、持っている知識などをつなげて考えています。(知識活用)</p> <p>③ 学んだことをもとにして、作品を創ったり新たな活動を計画したりしています。(創造)</p> <p>④ こういうときは、このように考えたらいと自分なりの考えを見つけ出しています。(概念的理解)</p> <p>⑤ 学んだことを、学習に必要な言葉を使ってまとめています。(言語化)</p>	<p>⑥ 友だちの考えと比べ合ったり、参考にし合ったりして自分たちで課題解決をしています。(協働)</p> <p>⑦ わからないことを自分たちで調べたり、人に聞いたりして、必要な情報を集めています。(情報収集)</p> <p>⑧ わからないことがあるときに、友だちに聞き合ったり助け合ったりしています。(援助希求)</p> <p>⑨ 学んだことを文や絵・図表などを使ってまとめたり作品にしたりして伝えています。(創作表現)</p> <p>⑩ 自分の考えを相手にわかりやすく伝えるように表現を工夫しています。(相手意識)</p>	<p>⑪ 「なぜだろう？」と思ったことをもとに自分たちの学習課題をつくっています。(課題発見)</p> <p>⑫ 学習課題について、自分なりの結果を予想しています。(見通し)</p> <p>⑬ どのようにして学習を進めたらよいか学習の仕方を考えています。(学習方略)</p> <p>⑭ 自分の学習の仕方を振り返り、改善点を見つけて次の学習に生かしています。(自己調整)</p> <p>⑮ 学んだことを、自分の生活や自分の将来に役立てています。(活用)</p>

取り組みたい学習活動 [アクティビティ]	<p>① 操作活動、体験活動、言語活動、探究活動などを中心とした学習活動</p> <p>② 問いとアウトプットのある単元計画(課題発見・解決学習)</p> <p>③ 実社会や実生活に関連させたり、疑問や気づき、必然性を持たせたりするなど、問いをもとにした課題設定</p> <p>④ 地域の学習素材(人、自然、社会、歴史、文化)を活用し、自分や地域の将来を構想する活動</p> <p>⑤ 一人一人に応じて、指導方法・教材等を提供したり(指導の個別化)、活動や課題に取り組む機会を提供したり(学習の個性化)する個別最適な学び</p>
高めたい指導方法 [ファシリテーション]	<p>① 思考を見取り、知識や情報・経験などを結びつけさせ、理解を深めさせる手立て(概念的理解)</p> <p>② 「ひと・もの・こと」との対話を通して、考えをつなぎ、交流させる手立て(ファシリテート、ペア・グループ活動)</p> <p>③ ホワイトボードやタブレット、付箋紙、思考ツールなどを活用しながら思考スキルを身に付けさせる手立て</p> <p>④ 学習活動や思考のプロセス等を振り返らせ、次の学びにつなげさせる手立て(自己調整力)</p> <p>⑤ 評価によって指導を改善し、次の指導に生かす手立て(指導と評価の一体化)</p>

学校経営の方向性
<p>① 常に「学習指導要領の理念の実現」に立ち返ること。</p> <p>② 令和6年度のへき地教育研究大会(県・全国)を目標としてとらえ、組織的に焦点化した授業づくりを行っていくこと。</p> <p>③ 授業づくりの深化・発展による積極的な生徒指導(自己決定、自己存在感、共感的な人間関係)を高めること。</p> <p>④ 義務教育終了時の姿を明確にするとともに、その「目的」、重点的な取組(「内容」・「方法」と合わせて小中学校で共有すること。</p> <p>⑤ 学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組めるようにすること。</p>